



きれいに、輝き
かしこく、かせぎ
大輪の花になる。



やまぐち 農林漁業ステキ女子

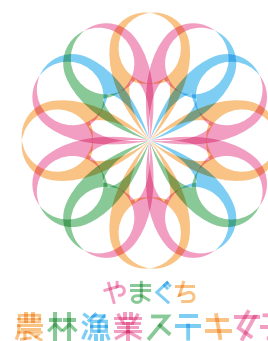
YAMAGUCHI WOMAN POWER! VOL.4

発行: 2024年1月
発行元: 山口県農林水産部 農林水産政策課 農山漁村女性活躍推進班
〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号
TEL: 083-933-3370
FAX: 083-933-3339

やまぐち農林漁業ステキ女子
ホームページにて
活動や最新情報を発信中!



課題の山は、可能性の山。 ステキ女子の働き方改革！



山口県ではやまぐち農林漁業ステキ女子を対象としたセミナーや各種講座等を開催して若手女性農林漁業者の経営力向上や、みんなが働きやすい職場環境づくりをサポートしています。

それぞれに目的や目標を定めて、一つひとつの課題に向き合い、専門家のアドバイスも得ながら働き方改革に取り組むステキ女子たち。日々の積み重ねから未来の可能性を着実に切り拓いている彼女たちの輝く姿が、みなさんの経営発展の参考になれば幸いです。

もくじ

やまぐち農林漁業ステキ女子とは	01
【特集】働き方改革の取り組み	02
女性が働きやすい農林漁業経営体づくりセミナー参加者の取組紹介	06
● 縄田 加奈江 さん	08
● 古田 優子 さん	06
「働きやすさ」をつくる経営改善研修会	10
ステキ女子活躍推進補助金を活用した経営改善事例	12
● 大内 清香 さん	13
● 今榮 綾香 さん	14
地域女子会の取り組み	15
● 柳井・大島地域	16
● 宇部・美祢地域	18
地域リーダーたちに聞く	20
登録メンバー&応援団を大募集	20
山口県での就業の流れ	20

やまぐち 農林漁業ステキ女子 とは

山口県内には自身の「ステキ・スタイル」を持ち、農林漁業を職業として活躍している女性の仲間がたくさんいます。やまぐち農林漁業ステキ女子は、「きれい」「輝き」ながら、「かしこく」「かせぐ」ステキ女子を目指して、経営発展につながるさまざまな取り組みを展開しながら、農林漁業の魅力を発信しています。



ステキ女子活躍推進補助金を活用した経営改善事例 ... P12



「働きやすさ」をつくる
経営改善研修会 ... P10



働き方改革の取り組み
... P02





経営改善



STEP 1 第1回セミナー
【公開講座】

小さな経営改善から進める
「経営理念・経営方針」の作り方

そもそも「経営」って何なのか。自分たちが日々行っていることを、ちょっと立ち止まってじっくり考えてみる。佐川氏の講義はそんなところから始まりました。経営とは、事業を運営・管理して目的を達成すること。自分たちはどんな経営体になりたいのか、そのために何に取り組まなければならないのか、経営に関する基礎を学んだ上で、目指すべき目的や目標をワークシートに書き出し、みんなで共有しました。

セミナー終了後は・・・



セミナー終了後の個別相談は、みんなで悩みや相談事を共有しようと座談会形式に変更。終了ギリギリまで話題が尽きなかった。



みんなの話は
とても参考になる！

グループに分かれて自己紹介を行い、経営目的と経営目標をそれぞれ発表。質問やアドバイスも飛び交った。

言葉にするって
案外難しい・・・



経営目的はすべての判断基準になるもの！飾り言葉じゃなく本音を簡単な言葉で表現しよう！

第1回セミナーのポイント

将来のことって、普段はあまり考える余裕がないと思いますが、実はこれがとても重要。自分たちの将来を経営視点で明確に描くことが目標達成の道しるべになるし、理想の未来を引き寄せることにつながります。

公開講座のみ参加

やま もと み わ
山本 美和さん

山陽小野田市・ゆめ農房川上

加工グループの代表をしていて、たくさんある課題を何か一つでも改善できたらと思って参加しました。ワークの中で、同じグループの人からとても良いヒントをいただくことができました。身内で話しても出てこないアイデアが見つかったので、さっそく試してみます。

公開講座のみ参加

やま さき ち ほ
山崎 智穂さん

岩国市・合同会社source

4年前に就農したのですが、作業に追われて自分が定まらず、迷走していて。でも、セミナーに参加して、何から始めたらいいのかわか、どこから答えを見つければいいのかわかった気がします。自分なりに将来の目標を立て、これからの方向性を主人とも見直してみたいと思います。



特集 働き方改革の取り組み

ステキ女子が参加！今年度のセミナーの年間スケジュール

2024年1月19日

経営計画
発表会

2023年10月4日～6日

現地指導

宿題 ワークシートの完成

2023年7月24日

第2回セミナー

宿題 ワークシートの記入＆
アイデアシートの活用

2023年7月4日
第1回セミナー
【公開講座】

宿題 ワークシートの記入＆
アイデアシートの活用



講師

ファームサイド(株)代表取締役
阿部梨園マネージャー

さがわ とも ひこ
佐川 友彦氏

1984年、群馬県出身。東京大学農学生命科学研究科修士卒。外資系メーカーの研究開発職などを経て、2014年より栃木県宇都宮市の阿部梨園に参画。阿部代表の右腕として3年間で大小500件の業務改善を実施し、小規模ながらスマート経営と直売率99%超を達成。2017年にクラウドファンディングでオンラインメディア『阿部梨園の知恵袋 農家の小さい改善実例300』を無料公開。ファームサイド(株)を設立し、講演活動や経営コンサルティング等を行いながら農家の経営体質改善を旗振りしている。

今年度も互いに学び合い、
つながりながら、
働き方改革に取り組みましょう！

「女性が働きやすい
農林漁業経営体づくりセミナー」
に密着取材！

やまぐち農林漁業ステキ女子が自らの働き方を見つめ直し、働きやすいやりがいを実感できる経営体づくりを進めるために、山口県では令和4年度から、『東大卒、農家の右腕になる。』の著者で知られる佐川友彦氏を講師に招いての通年セミナーを開催しています。令和5年度のテーマは「小さな経営改善から始める経営計画づくり」。実践的でわかりやすいと好評を得ている佐川氏のセミナーはどんなものなのか。気になるその中身を取材しました。



経営改善

お客様の
ニーズを満たせるのは
どんな商品??

STEP 2 第2回セミナー

中期的な「経営計画」の作り方

経営目的と経営目標を設定したら、次はいかに売上を上げるかです。自分たちの商品やサービスをお客様へ届けるために必要なマーケティングについて学びながら、マーケティングを意識した商品企画や販売戦略を実際に立てて、互いに発表し合いました。グループワークが盛り上がり、上がって予定時間をオーバーしてしまいました。その意見や情報を活発に交わすことができ、とても有意義な時間となりました。



STEP 3 現地指導

現地での経営訪問指導

第2回セミナーから約70日が経過。佐川氏が参加者一人ひとりのもとを個別に訪れる現地指導の日がやってきました。日々の仕事に追われながらも必死で取り組んだ宿題を提出して、経営計画の策定や改善アイデアの実践に役立つ具体的なアドバイスをいただいたり、経営に関する悩みもぎっくばらんに相談させてもらって、モヤモヤもスッキリ。セミナー最終回の経営計画発表会を3カ月半後に控え、ラストスパートに弾みをつけました。



ようこそ！
佐川先生！

自分にも商品にも磨きをかけなきゃ！

商品企画のコツはお客様の「心を動かす」商品をどう作るか。心に残る訴求ポイントを絞り込み、仮説を立てて実行したら、その結果を検証して次の改善に活かすことが大事。



リモートでも 佐川先生の助言をもらう



リモート参加者も会場とつながり活発に発言。セミナーはステキ女子たちの大事な情報交換の場。

第2回セミナーのポイント

前回のセミナーで明確にした将来像を実現するためには、商品売って利益を伸ばさなければなりません。事業拡大や投資には資金が必要なので、いつまでに何をすればいいか、きちんと計画立てて実行することが大切です。



ワークシートの
記入が進まなくて…。

収益の見通しが立てば
実行できるかも！
計画を進めましょう！

通年参加・1年目

にし むら よし こ
西村 淑子さん 宇部市

自家栽培の素材を使ってカフェを開きたいのですが、課題があって、ワークシートの記入も途中で行き詰まってしまう。でも、佐川先生に「計画するのは自由なんだからやってみたらいい」と背中を押していただいて、気持ちの整理ができました。何とか道筋を立てられそうなので、これからしっかり経営計画の策定に取り組みます。

佐川先生のコメント

小さい改善ってすぐに取り組めて、すぐに結果が出るんです。アイデアシートを記入して実際に試し、その結果を分析してまた次に生かす。そのちょっとした積み重ねが、将来の大きな成果につながります。経営計画で目的達成までの道のりを明確にし、必要な改善を繰り返していけば、いつか必ず目指すところへたどり着けます。最終回の経営計画発表会までもう一息！ 気を抜かずがんばりましょう！



STEP 4

経営計画 発表会

参加者全員が「経営計画」を発表するセミナーの集大成。佐川氏がそれぞれにアドバイスを行って、今年度のセミナーは終了しました。ステキ女子たちの今後の成長が楽しみです！

通年参加・2年目

なが お とも み
長尾 智美さん

山口市・(株)あぐりてらす阿知須

昨年度は小さな経営改善を積み重ねたことで、私たちはもちろん従業員の意識もずいぶん変わりました。佐川先生のアドバイスは的確でわかりやすいのでありがたいです。また、何でも言語化して口に出すと絶対にやらないといけなくなるので、良いプレッシャーになります(笑)



通年参加・1年目

す どう よう こ
首藤 陽子さん

長門市・(株)維里

これからの農業にはお客様のニーズに合わせたブランドづくりが必要だと考えています。そのためには、ニーズに敏感な女性が必要の根幹をしっかりと理解し、事業の舵を握っていくことが大事だと思うので、経営やマーケティングについて改めて学ぶことができて良かったです。





経営改善

参加者の
取組紹介



小さな改善でみんな「ごきげん」に。

宇部市・縄田 加奈江さん

外に出る大事さを痛感。

就農した年に結婚と出産が重なった私は、仕事と家事と育児に追われてとにかく余裕がなく、研修会に誘っていただいても全部お断りしてきました。でも、内省を繰り返しながら次第に行き詰まりを感じるようになって。昨年思い切ってセミナーに参加してみることになりました。すると、みんな同じような悩みを抱えていたり、共感することが多くて、気持ちが楽になったんです。しかも佐川先生の話は不思議と素直に聞けて。外に出ることは大事だとつくづく感じました。

気持ちにゆとりができた。

さっそく改善アイデアを百件書き出して頭の中を空っぽにし、ごちゃ混ぜになっていた農業と母業の課題を分けて整理しました。課題を可視化すると意識が変わるし、行動に移さざるを得なくなる(笑)。佐川先生のアドバイスを受けながら優先順位をつけて改善に取り組み、作業場の整理整頓や便利家電の購入、アプリを活用した夫との情報共有など五つの課題を解決できたことで、気持ちに少しゆとりが生まれました。

今年はチャレンジの年。

さらに今年はセミナー参加を継続しつつ、ステキ女子マルシェや販路の拡大、農業委員にも挑戦しています。相変わらず時間確保が難しい状況は続いているですが、大変って言うだけじゃ何も変わらない！省力化のための機械導入など、改善の余地はまだあります。作物もお客さんも私たちも農地も、みんなが「ごきげん」になれるように、気は抜かず良い意味で手を抜くやり方で、凡事徹底、コツコツやっていきたいと思っています。

縄田さんの具体的改善

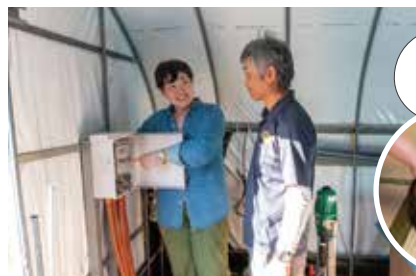
作業導線に合わせてレイアウトを変更

整理整頓を徹底することで作業を効率化。



仕事もプライベートも作業負担を減らす！

自動灌水装置など作業負担を軽減するために必要なものは積極的に導入。自分がやらなくていいことは他に任せようと、食洗器とお掃除ロボットも購入した。



食洗器とお掃除ロボットは心の友

昨年のセミナーで刺激を受け、マルシェに参加！

昨年のセミナーで刺激を受け、今年はマルシェに初参加。アスパラガスを長めに切りそろえる、プラスチック製のバックやテープを使わないなど、主婦目線を大事にしている。



現地訪問の様子

花と野菜の複合経営をしている農家は少ないが、農産物ごとに参考になる農家の情報を現地指導時に佐川先生から収集。先生は何でも答えてくれてありがたい！



通年参加・2年目



なわ た かな え
縄田 加奈江さん

縄田農園
宇部市妻崎開作

就業年：2015年

経営品目：アスパラガス、菊、リンドウ、ミニトマト、その他野菜
栽培面積：約1ha(うちハウス13棟)

1987年、山口県宇部市出身。東京の大学に進学し、在学中にアルバイトしていたテレビ関係のイベント会社へそのまま就職。手に職をつけたいと考えようになり、帰省して2013年に農業大学校のやまぐち就農支援塾を受講。2015年に新規就農するも、結婚と出産で開店休業状態に。2016年に夫婦そろってアスパラガスと花の生産を開始した。8歳と4歳の娘を育てながら農業と母業の両立に奮闘中。



経営改善

参加者の
取組紹介



一つひとつ向き合えば、
答えは見つかる。

周南市・古田 優子さん

「阿部梨園の知恵袋」に感動。
そもそも私は、自分で一からすべてを作り上げる農業という職業に興味を持ち、農家に嫁いで来ました。でも、いざ主体的に仕事をするようになってみると、とにかく大変で。経営をしながら、栽培から広告宣伝、接客、販売、事務作業までこなすなんて、すごい仕事量ですよ。でも、やるしかない。悪戦苦闘している時期にたまたまネットで「阿部梨園の知恵袋」を見つけた時は、心底感動しました。「私の教科書がここにある！」って。

セミナーをきっかけに行動を加速。

しかも昨年は憧れの存在である佐川先生のセミナーを受講できて、幸せな一年でした。佐川先生は何を聞いてもすべて細かく答えてくださるので、どんな頭の中が整理されて、やるべきことが明確になりました。農作業のミスをなくするための工夫や果樹の個体番号管理、電動器具やアシストスーツを導入して身体負担を軽減したり、煩雑だった地方発送業務の流れを刷新したりと、できる限りの改善を繰り返しているうちに改善くせも身に付いて(笑)

改善の積み重ねは楽しい。

そして今年は、これまでおさなりにしていた店舗づくりに取り組み、農園入口に看板やのぼりを立てて、店内に売場コーナーを設け、お土産用商品を充実させました。ちよっとはお店らしくなって、お客様にも喜んでいただけたし、やってみるものですね。何でも一つずつ向き合えば、答えがあるものなんだなって実感しています。佐川先生をはじめいろんな人の力を借りながら、これからも目標に向かって楽しく前向きに改善を続けたいと思います。

古田さんの具体的改善

農園内に売場コーナーをつくった！

今年は購買意欲がわく店舗づくりに挑戦！お土産用商品も充実させてお客様に喜ばれた。これまでばら売りにしていた「訳あり梨」をカゴで販売したら好評で、販売効率も向上！



収穫梨のカラーチャートを作成

収穫に最適な梨を見分けるためのカラーチャートを作成したところ収穫ミスが激減。



事務スペースの整理整頓

事務スペースの整理整頓と地方発送業務の体制の見直しで作業効率がアップ！



現地訪問の様子

今年度改善したところを見ていただいた上で、事前にまとめていた五つの悩みを佐川先生に相談。一つひとつ丁寧にアドバイスをいただけて気持ちがスッキリ！



通年参加・2年目



ふるた ゆうこ
古田 優子さん

ふるた梨ぶどう園
山口県周南市大字金峰
<https://furuta-nouen.jimdofree.com>

就業年：2011年
経営品目：梨10品種、ぶどう6品種
栽培面積：梨140a、ぶどう20a



1975年、岡山県出身。中学時代からテレビ業界に憧れ、テレビ分野での青年海外協力隊参加を目標に大阪の大学へ進学。東京でディレクターの経験を経た後、35歳の時に青年海外協力隊に合格。2009年から2年間タンザニアのテレビ局で活動した。帰国後知人の紹介でお見合いした夫と結婚し、就農。3代目園主の夫と母と3人で農園を切り盛りしている。



「働きやすさ」をつくる 経営改善研修会

みんなが働きやすさややりがいを実感できる職場環境づくりの実現を目指して、山口県は今年度、農林漁業経営体の経営者等を対象にした研修会を開催。県内各地から集まった約100名の参加者が、講師やパネラーの事例をもとに経営改善の具体的な取り組みや手法などについて学びました。

研修会で紹介された取組事例紹介の動画はYouTubeでも公開中。
ぜひご覧ください！



「働きやすさ」をつくる経営改善 講演

講師はファームサイド(株)代表取締役・阿部梨園マネージャーの佐川友彦氏。従業員の立場から阿部梨園の経営改善を実現した自身の事例紹介と、取り組みを進めるにあたってのポイントなどを教えていただきました。

おいしい梨で評判の世間のイメージとは裏腹に、農園が抱えていた数々の経営課題に直面した佐川氏は、インターン期間中に百件の業務改善を実施するという目標を掲げ、すぐにできることから改善の取り組みを開始。最初に行ったのは職場内の掃除。職場がきれいになり、快適に働けるようになったとみんなに喜ばれたそうです。掃除や整理整頓は何が変わったかが目に見えてわかる上に、他の従業員とのコミュニケーションのきっかけにもなり、とても有効だったとのこと。また、労働条件や待遇などの改善を進めた結果、従業員のモチベーションが上がって職場の雰囲気良くなり、採用も増えて人材の質や生産性が向上。

これら数々の実体験を踏まえて佐川氏は、「何かを変えようと思ったら自ら率先して動くこと」「従業員の未来を真剣に考えてあげることが大切」などいくつかの要点を挙げた上で、「課題があるということは改善の余地ハポテンシャルもまだまだあるということ。万策尽きてはいない。すぐに実施できる小さなことから改善に取り組んでほしい」と結びました。

取組事例紹介(動画視聴) パネルディスカッション

「働きやすさ」をつくるコツ

続くパネルディスカッションでは、(株)江越農園の代表取締役・江越正和さん、取締役・江越律子さん夫妻と、(株)エスケーサービスの代表取締役・小早川さえ子さん、専務取締役・小早川慶之さん夫妻がパネリストとして登壇。両社の取り組みを紹介する動画を視聴した後、佐川氏をコーディネーターに迎えて意見を交わしました。その一部をご紹介します。



(株)江越農園の江越律子さん・江越正和さん

佐川「働きやすさ」を確保するために取り組まれていることは？

江越正 私の本職にあるのは、一緒に働いてくれている従業員への感謝の気持ち。一日も長く元気で働いてもらいたいため、気兼ねなく休める態勢や保険などを整えています。仕事上の雑談も、手を動かしてさえくればOKです。年2回の個別面談で出た意見や要望にも可能な限り対応して、育児休業の整備も面談の声を反映しました。

小早川さ(株)弊社は従業員の9割以上が女性なので、一人ひとり

への目配り、気配り、心配りを常に心がけています。また、年に一度は対一の面談を行って、従業員の声を吸い上げるようにしています。家庭や育児との両立がしやすいよう、休みの希望を叶えたり、出勤・退勤時間が自由に選べるシフト制を採用したりもしています。

佐川 やってみたい難しかったこと、大変だったことは？

江越(律) 取り組み以前に、私たちの意識改革が必要でした。代表と私で経営会議を開き、経営理念から話し合いました。また従業員同士の交流も兼ねたランチミーティングをお昼休憩の時間で始めたのですが、ミーティングは休憩時間外で行ってはどうかと従業員から提案があり、11時半〜12時をミーティング、12〜13時をランチ会に変更しました。

小早川慶(株)個人面談でも要望のあった休憩室や女性専用トイレは、国の補助事業に応募して何とか整備することができました。仕事を終えてから毎晩パソコンに向かい、何度も書類を書き直しました。それがとても大変でし

たが、補助金等も活用してコツコツ整えてきたハード面は求人



(株)エスケーサービスの小早川慶之さん・小早川さえ子さん

たが、補助金等も活用してコツコツ整えてきたハード面は求人

のアピールポイントにもなっています。

佐川 これから取り組みを始める人にひと言アドバイスをお願い

します。

江越(律) 個別面談の際もそうですが、従業員が代表に意見を言

いやすいように横からフォローを入れるようにしています。

小早川さ(株)従業員にまず寄り添って、従業員が求めるものを

叶えてあげることが大事だと思

います。

参加者の感想

ひら おか まこと
代表取締役 平岡 誠さん

岩国市・株式会社デナリファーム



現在19名のパート従業員を抱えており、みんなが無理なく働けるよう自由出勤制度を採用していますが、事業拡大に伴って職場環境の整備が必要になると思い研修会に参加しました。みなさんの事例を聞いて、まずは従業員とのミーティングなどを検討したいと思いました。

参加者の感想

しば おか ひろ あき
代表理事 柴岡 寛瑛さん

美祿市・農事組合法人植柳ファーム



美祿市植柳地区で水稻、大豆、野菜の複合経営を行っており、社員1名とアルバイト約20名を雇用しています。今回研修会に参加して、改善すべきことがたくさんあると気付きました。個人面談を設けることや、データの蓄積と活用、女性に配慮したハード面の整備も必要ですね。

ステキ女子活躍推進補助金を活用した経営改善事例

ステキ女子活躍推進補助金

【補助率】 1/3以内(予算の範囲内)

【事業費】 下限:10万円 上限:100万円

【対象の事業】

- 商品開発・改善(商品試作、パッケージ開発、成分分析、事例研究等)
- 市場調査(アンケート調査、消費者モニター調査等)
- 販路開拓(商談会出席、パンフレット・チラシ等の作成)
- 販売促進活動(販売促進資材の作成、イベント開催等)
- 労務改善・人材育成(新たな資格の取得、人材の募集等)

山口県では、やまぐち農林漁業ステキ女子による経営発展に向けた新たな取り組みに対して、必要な経費の一部を補助しています。商品開発から販路開拓、労務改善や人材育成まで幅広く利用できるのが特徴で、実際にたくさんのステキ女子がこの補助金を活用して、新たな一歩を踏み出しています。

食用バラで女性を笑顔に。

両親が育てたバラを直接お客さんに届けたくて、島に帰ってきました。サイトを立ち上げたり、マルシェに出店したりして、バラの魅力を発信していたんですが、ある時知人に紹介された京都のバラ園で食用バラの栽培に出合い、花が食べられることに衝撃を受けました。高専、大学と理系畑だった私は、よく周囲の男子に女子へのプレゼントを相談されていたので、「これだ!」って思いましたね。花とお菓子は世代も時代も国境も超えて女性に喜ばれると確信してましたから。

2016年に食用バラの栽培を始め、昨年念願だった加工品開発に挑戦しました。地域女子会で東京のマルシェに出店することが決まっていたのと、ステキ女子活躍推進補助金に背中を押された結果ではあります(笑)。加工所の方と試作を重ね、成分分析などの検査も行って、納得のいくローズシロップを発売することができました。今後は県東部の仲間たちとも力を合わせて、販売の方に力を入れていきたいと思っています。

商品開発と試作販売の活用事例

ローズシロップ

バラ、甜葉糖、レモン、はちみつだけのシンプル素材



おお うち きよ か
大内 清香さん

大内バラ園
山口県周防大島町
<https://ouchi-rose-farm.storeinfo.jp>



山口県周防大島町出身。高等専門学校から九州の工業大学に進み、卒業後は東京でシステムエンジニアをしていた理系女子。東日本大震災をきっかけに2013年にUターンし、家業の大内バラ園の魅力を発信しながら、独自に食用バラの栽培を開始。加工品開発にも挑戦している。

販促強化で魅力を発信。

私は農業大学のやまぐち就農支援塾で6次産業化を知り、いずれは加工品も作りたいと考えていました。ところが、就農してトマト栽培を始めた年に出荷できないトマトが数百キロも出てしまっ、やり場に困って破棄したんです。これは何とかしなきゃと思い、もっと先のことだと思っていた商品開発に取りかかりました。最初に作ったのはレトルトカレーで、ジュースやジャム、ケチャップも商品化しています。

加工は専門業者さんに委託しているのですが、商品は問わないのですが、商品を作るのがなかなか大変で。そこでステキ女子活躍推進補助金を活用して、農園のロゴが入ったのぼりやテーブルクロス、食品サンプルなどの販促資材を作成しました。こういう資材があると遠くからでも目立つし、売り場が華やかになりますよね。マルシェや商談でフル活用しています。すべて自費で作るとなるとなかなか手が出ないので、補助があると本当にありがたいです。今年は農園紹介のパンフレットと商品をアピールするのぼりを作って、さらに販促を強化する予定です。

販促資材の作成と販路拡大の活用事例

- のぼり
- テーブルクロス
- 食品サンプル



サンプルがあると商品の中身がイメージしやすい!



いま え あや か
今榮 綾香さん

ごろうのはたけ
山口県山陽小野田市大字植生
<https://www.instagram.com/goro.no.hatake/>



1991年、山口県下関市出身。関西で飲食店経営をしていた夫が突然農業に目覚め、就農地を探して地元山口県にたどり着く。2016年に夫婦そろって農業大学のやまぐち就農支援塾を受講。2018年に祖父の家がある山陽小野田市で就農し、夫婦でいちごとミニトマトを栽培している。

宇部・美祢 地域

地域女子会が主体となり 初のマルシェを開催！

宇部・美祢地域では今年度、マルシェをやりたいと声を上げたメンバーが中心となり、2023年6月に「宇部・美祢地域ステキ女子マルシェ実行委員会」を立ち上げました。マルシェの企画や会場選びなどすべて自分たちで検討を進め、10月に山口宇部空港ふれあい公園で宇部・美祢地域女子会初の独自マルシェを開催しました。



地域女子マルシェ開催までの道のり

6月

実行委員3名が集まって
1回目の実行委員会を開催！



7月

候補地を見て回り、
山口宇部空港に隣接する
「山口宇部空港ふれあい公園」に会場を決定



地域女子会独自のマルシェを
開催している岩国へ視察！



8月

経験を積むため、おのだサンパークで行われた
山口ダイハツ販売(株)とのコラボマルシェに参加



10月

2023年10月28日(土) マルシェ当日！



10月28日、地域女子会メンバー10名が出店する初のマルシェがスタート。実行委員自ら地域メディア各社を回って広報した甲斐もあり、開始前から行列ができるほど多くのお客さんと賑わいました。子育て世代を意識して設けた託児コーナーや景品つきのクイズコーナーなども大人気！

出店者も来場者も、家族みんなで参加して、交流して、和気あいあい。笑顔あふれる楽しい一日となりました。実行委員会では今後もマルシェを継続して、消費者と直接ふれあえる場を設けていきます。

令和5年度の

やまぐち農林漁業ステキ女子の取り組み

ステキ女子を目指して様々な取り組みが進んでいます！



柳井・大島 地域

マリッサリゾート サザンセット周防大島に 「農業女子コーナー」を開設！

柳井・大島地域は、「やまぐち農林漁業ステキ女子応援団」でもあるリゾートホテル「マリッサリゾート サザンセット周防大島」の2023年7月オープンに合わせて、同ホテルとコラボして、お土産やグッズを販売するショップの一角に「農業女子コーナー」を開設。地域女子会の紹介や、作り手の顔が見えるポップも作成していただき、とてもステキな売場が完成しました。



写真講座で発信力UP！

SNS発信や商品PRに欠かせないのが、ぱっと目を引き、魅力を伝えることができる写真。「撮影方法を習いたい」というメンバーの声を受け、2023年10月に写真講座を開催しました。プロフォトグラファーの渡辺美沙氏を講師に迎えて撮影の基礎知識を学び、スマホを使った撮影を体験。持ち寄った商品を被写体に、一人ひとり指導を受けながら講義で学んだことを実践しました。



萩市農業委員 松田 由美子さん

農業委員になったきっかけ

行政の方から、前任者が辞められるのでやってみないかと、声をかけてもらいました。これも勉強かなと思って引き受けました。農地確認と毎月の定例総会に出席するのが主な仕事です。

農業委員をやってみて

いろんな会合で若い人ががんばっているよ、と聞くんですけど、顔が見えなかったのが、萩市長に「若手農業者の交流会をしてください」とお願いしました。そしたらすぐに交流会が開催されて、とても大きな若者の輪ができました。これも農業委員をやったから気づいたことかなと思います。若い人のつながりを作っていくことも大切な仕事だと思います。

若手農業者に伝えたいこと

これから高齢化が進む中で、若手農業者たちがいるところで活躍することが大事だと思います。なので、もし農業委員をやらないか、推進委員をやってみないかという声かけがありましたら、ぜひ引き受けていただきたいと思っています。



まつ た ゆ み こ 松田農園
松田 由美子さん 山口県萩市吉部下

1970年、山口県萩市出身。「千石台だいこん」を育てる農家で生まれ育ち、働きつめの両親を見て農業は絶対にしないと心に決める。広島専門学校で和裁を学び、呉服店に就職。約20年前にUターンして家業を手伝うようになり、次第に農業に目覚めていった。約3haの農地で大根と人参を生産しながら、現在は経営にも加わっている。

長門市農業委員 河野 八千代さん

農業委員の仕事

荒廃農地がないかを確認して回る「農地パトロール」をしたり、農地が荒廃に至らないように考えていくのが主な仕事です。地域農業の振興や活力あるむらづくり活動等に取り組む農家生活改善士も務めさせていただいており、山口県農家生活改善士会の会長をしています。

農業委員をやってみて

地域のお世話をさせていただくようになって、後継者の問題とか、農業の未来も少しずつ考えるようになってきました。泥だらけの農業っていうのもすごく魅力を感じますが、また違う視点で、新しい農業のやり方も学びながらお伝えできたらなと感じています。

若手農業者に伝えたいこと

長門市でも県域でも、地域活動やいろんな学びの場、研修の場がたくさんあります。私も実際に参加してみて、たくさんの学びがありました。新しい勉強や視野を広げる意味でも、そういった場に参加されるといろいろためになると思います。



かわ の や ち よ ペジふるトレイン
河野 八千代さん 山口県長門市俵山

1966年、山口県下関市出身。両親は海運業に従事し、農業とは無縁の環境で育つ。自動車会社の事務職に就き、結婚して長門市俵山の米農家へ。子育てが一段落してから農業を本格的に始め、野菜ソムリエの資格も取得。「ペジふるトレイン」として自家栽培米や地元農産物を使った加工品を製造販売しながら、地域食材の魅力を発信している。山口県農家生活改善士。

地域リーダーたちに聞く

これからの地域農業をリードするステキ女子たちの活躍

担い手不足や高齢化など、農林水産業を取り巻く環境が大きく変化する中、これからの農業を牽引する若手女性リーダーとして活躍するステキ女子たちの仕事や、活動を通じての思いを伺いました。

今回ご紹介した地域リーダーの活躍はYouTubeでも公開中。ぜひご覧ください！



やまぐち農林漁業ステキ女子【山口県農林水産政策課】
@nourinyogyousutekijoshi

周南市 農地利用最適化推進委員

須田 加弥子さん

農地利用最適化推進委員になったきっかけ

農業委員をされている女性の先輩農家さんから、農地利用最適化推進委員をやってみませんか？と声をかけていただき、やることにしました。

農地利用最適化推進委員の仕事

遊休農地がないかどうか、どういう作物が栽培されているかなど、農地のチェックを年一回行うことが主な仕事です。年々、遊休農地や荒れてしまう土地が多くなっているので、高齢化が進んでいる中で、次の世代へなるべく早くつないでいくことが大事だと実感しています。

若手農業者に伝えたいこと

農業の色んなものを教えてくださる方々が元気なうちに、もっとたくさんの方に農業に就いていただいて、日本の食を守っていけたら良いなと考えています。



す た か や こ
須田 加弥子さん

fu do ku kan Bamboo
山口県周南市須万
https://www.fudokukanbamboo.com/



1978年、千葉県出身。東京の短大を卒業後アパレル会社に就職し、出版会社に勤めていた夫と結婚。子どもの誕生をきっかけに食と農業に関心を持つようになり、2011年の東日本大震災を機に周南市須金地区へ家族4人でUターン。里山の遊休農地で唐辛子を生産しながら、加工品の製造販売やキッチンカーでの販売も行っている。

やまぐち農林漁業ステキ女子 応援団 募集!

募集対象 企業・団体等の皆さま

- ステキ女子と連携した取り組みや情報発信で新たな顧客開拓につなげていきたい
- ステキ女子の生産物やアイデアを活かしてお客様に新しい価値を提供していきたい

やまぐち農林漁業ステキ女子とノウハウを共有したり、補完し合ってお互いの活動を一緒に広げていく意欲のある企業・団体等を募集しています。連携した取り組みや情報発信に興味がある方をお待ちしております!

主なコラボ活動の内容 企業や団体ごとに取り組み内容も様々!

● マルシェ

山口ダイハツ販売(株)とコラボした「やまぐち農林漁業ステキ女子マルシェ」を開催

移動販売パッケージ「Nibako」に商品をディスプレイ



● 売り場づくり勉強会

JAGDA山口((公社)日本グラフィックデザイナー協会山口地区)とのコラボで売り場づくり勉強会を開催



登録から活動までの流れ

STEP 1 ステキ女子を知り一緒に活動する

- 個々のステキ女子とつながりを持つ。
- 連携活動(マルシェ開催場所の提供など)や、情報発信(ポスターの掲示やパンフレットの設置など)を支援する。

STEP 2 やまぐち農林漁業ステキ女子応援団に登録する

登録申込書を山口県農林水産部農林水産政策課に提出。
過去の連携活動の実績や、今後応援団としてステキ女子とともに取り組んでいきたい内容を記入する。

STEP 3 ステキ女子を応援し活動を深める

- マッチングイベント等で新しいステキ女子と出会う。
- ステキ女子とともに、新たな連携活動に取り組む。
(商品開発、活動場所の提供、情報発信やPR、経営発展支援など)

応援団の詳細はこちら

お問い合わせ

山口県農林水産部 農林水産政策課 農山漁村女性活躍推進班

TEL 083-933-3370 753-8501 山口県山口市滝町1番1号 FAX:083-933-3339 メール:al7100@pref.yamaguchi.lg.jp



やまぐち農林漁業ステキ女子 メンバー 募集!

募集対象 山口県内の農林漁業を職業とする女性

山口県内の農林漁業を職業とする女性で、「きれい」に「輝き」ながら、「かしこく」「かせぐ」農林漁業女子を目指し、登録メンバー間の情報交換や取り組みの情報発信等にご参加いただける方を「やまぐち農林漁業ステキ女子」として募集しています。ステキ女子として個々の思いを共有し、学び合いながら、自身の経営発展につながる様々な活動(ステキ女子プロジェクト)に参加してみませんか。一緒に、農林漁業の魅力を広く情報発信していきましょう。

主な活動内容

取り組みへの参加は自由!
興味のあるものを選んで参加できます。

- ステキ女子間の情報交換
- ステキ女子プロジェクトの活動(マルシェの開催など)
- 異業種とのコラボ
- SNSで情報発信

Facebookにて

やまぐち農林漁業ステキ女子の活動や最新情報を発信中!



PICK UP

生産物を活かした商品開発、マルシェ出店、就業ガイダンスへのゲスト出演など様々な活動から新たなつながりが生まれています。

就業ガイダンスで林業の魅力や体験談をトーク!



下関市・永見 優子さん

マルシェで地元産乳製品のPR!



下関市・岸田 妙子さん

地元で獲れたイカスミを使ったシフォンケーキを製造販売!



萩市・家田淑美さん 佐々木麗子さん

◀ 関心のある方は、左記のお問い合わせ先にお気軽にご相談ください

漁業

をはじめたい方へ

1 情報収集・相談

- 相談窓口へ相談
- 山口県独自の漁業就業支援フェアに参加し指導者とマッチング
- 就業したい漁業形態をイメージ
(**自営** or **雇用**)

2 研修 短期研修と長期研修

短期漁業研修(最長1週間)

- マッチングした指導者の下で漁業体験
- 希望する漁業形態への適正や指導者との相性を確認

長期漁業技術研修(最長2年間)

- 指導者(漁業会社も含む)の漁船に乗り込み研修へ
- ※研修中でもアルバイト代が支給されます。

3 独立・就業の準備

- 船舶免許等の資格取得 ※県の支援あり
- 漁協への組合員加入
- 漁船漁具等の取得 ※県の支援あり

4 就業から定着へ

経営安定に向けた実践的な経営研修に移行

※県の支援あり:
自営型漁業就業員に対して3年間給付金支給。



お問い合わせ

山口県
漁業就業者確保育成センター

TEL 083-261-6612

山口県下関市大和町1丁目16-1下関漁港ビル
(山口県漁業協同組合指導課内)
FAX: 083-261-6618



詳細はこちら

林業

をはじめたい方へ

1 情報収集・相談

- 相談窓口での情報収集
(就業先や研修のコーディネート、アドバイスなどあり)
- 就業ガイダンスや相談会に参加

2 見学・体験

- やまぐち森の仕事見学ツアーに参加
- チェンソーや刈り払い機を使った林業作業を体験

※旅費等について、一部支援が受けられます。
※就業相談会や仕事見学ツアーなどの日程については、
やまぐち森林担い手財団のホームページをご覧ください。



3 研修

林業即戦力短期育成塾(5ヵ月間)

- 木材生産に必要な資格取得や技術習得
- ※研修期間中、一定の要件を満たせば、給付金が受けられます。

4 就業後

就業後も、就業状況に応じて、技術や技能を
習得する各研修を受講可能

お問い合わせ

(一財)やまぐち森林担い手財団
(山口県森林整備支援センター)

TEL 083-932-5286

山口県山口市駅通り2丁目4-17
FAX: 083-934-3150
メール: yamahito@ykenshin.or.jp



詳細はこちら

新規就業をサポートします!

山口県では「担い手支援日本一」を目指し、相談から体験、研修、就業、定着までの一貫したサポートを関係機関と連携して行っています。

山口県での
就業
の流れ

農業

をはじめたい方へ

1 情報収集・相談

- 就農候補地の市町・農協・農林水産事務所等へ相談
- 就農相談会や、やまぐち就農ゆめツアーへの参加
※就農相談会やゆめツアーの日程などは、やまぐち農林振興公社のホームページをご覧ください。
- 就農形態の検討(**自営就農** or **農業法人への就業**)

2 体験

やまぐち就農支援塾及び現地農家等で
農作業を体験

3 研修

栽培技術等の長期研修(最長2年間)

やまぐち就農支援塾等の研修機関で農業経営に
必要な知識や技術等を習得するための研修を受講

4 就農・就業の準備

自営就農準備

- 就農候補地の市町・農協・農林水産事務所等と具体的な経営内容について協議
- 就農場所や経営内容を決定
- 就農時や将来の経営計画を作成

農業法人への就業準備

- 自分の栽培したい品目や地域、働き方に合う農業法人を探す
- 農業法人で働くために必要となる知識・技術・資格などを習得

5 就農・就業

自営就農

農地や施設機械等を取得して農業経営を開始

農業法人への就業

農業法人などで採用され農業を開始

お問い合わせ

(公財)やまぐち農林振興公社

TEL 0835-28-8452

山口県防府市牟礼10318
(山口県農林総合技術センター 農大校教育棟2階)
FAX: 0835-28-7671
メール: yashuno@y-agreen.or.jp



詳細はこちら

